



国際交流のひろば



vol.31

占い

フィンランドでは、6月のまつりで伝統的な占いを行うそうです。今回は、各国の占いについて紹介します。



タンヤ
国際交流員

フィンランドの占い

フィンランドでは伝統的に占いをする日が二日あります。12月31日の夜に、金属を溶かして、氷水のバケツに投げ、出来た塊の形から新年を占います。また、6月21日夏至の祭りの日も占いをします。種類はたくさんありますが、それらはすべて結婚や恋愛に関係したものです。

昔からトランプカードで占いをするのが一般的で、出来る人がいると、必ずパーティーに誘います。15歳の時に住んでいたイナリ町の文化課長は十代向けのサマーキャンプでトランプ占いをしてくれて、皆に「世界一カッコいい大人」と言われるようになりました。



カミーラ
国際交流員

ブラジルの占い

ブラジルにある占いは、様々な方法がありますが、ブラジルの南東地方でよく使用されるのは三つです。

一つ目は「タロット」というヨーロッパのカード占いで、よく使われるカードはマルセイユ版タロットです。二つ目は星占いです。最近特に若者に人気が出てきて、1週間又は1か月の星占いが書いてある雑誌が多く、結果を気にする人がたくさんいます。三つ目は「ブジ奥斯」という子安貝を使うアフリカ系の宗教の占いです。アフリカ系民族が多いリオデジャネイロ州で人気があります。



ジリアン
国際交流員

アメリカの占い

アメリカで一番人気がある占いは占星術です。ほとんどの人が生年月日から自分の星座を知っており、新しく知り合った人に「あなたの星座は何?」と聞く人も多いです。日本でも星座占いは広く知られていますが、アメリカでは生年月日だけでなく、生まれた時間と町により、さらに詳細な結果を知ることができます。現在アメリカでは『birth chart』が流行っており、占星術が詳しい人のネット上相談サービスがブームになっています。自分で勉強している人も増えています。

国際交流員は、国際理解教育の場などに積極的に参加し、地域の国際化のために活動しています。
おたずね/文化国際室 ☎21-6576

出雲弥生の森博物館情報

速報展 6月5日(水)~9月30日(月)

**「よみがえる鰐淵寺の建造物
—釈迦堂の修理成果から—」**

ギャラリー展 5月29日(水)~8月26日(月)

「出雲の赤—縄文・弥生時代編—」

縄文・弥生時代には、大切な道具に祈りを込めて「赤」を塗り、儀礼を行っていました。

展示では、出雲で使われた「赤」を紹介します。

ギャラリー展関連講座

**「水銀朱の調達と利用 —西谷3号墓・
上天神遺跡(香川県)・若杉山遺跡(徳島県)から考える—」**

7月7日(日) 14:00~16:00

◆講師/大久保 徹也 氏(徳島文理大学教授)

◆受講料/無料 ◆申込み/事前に、電話・FAXでお申込みください。

ギャラリートーク 6月22日(土) 10:00~※申込みは不要

職員リレー講座

出雲の文化財や歴史、最新の発掘調査の成果について、専門の職員がわかりやすく解説します。



第1回 6月22日(土)

「神門横穴墓群の発掘調査報告」

◆講師/原 俊二 石原 聡

第2回 8月3日(土)

「解説 いずもの登録文化財」

◆講師/景山 このみ

第3回 8月24日(土)

**「出雲における
弥生・古墳時代の埋葬儀礼」**

◆講師/坂本 豊治

【共通事項】

◆開催時間/14:00~16:00

◆受講料/各回300円

◆申込み/事前に、電話・FAXでお申込みください。



出雲弥生の森博物館

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)

休館日 火曜日(祝日の場合は翌平日)

入館料・観覧料 無料

〒693-0011 大津町2760

☎25-1841 FAX 21-6617

<http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>

メールアドレス:yayoi@city.izumo.shimane.jp



よすみちゃん

世紀の大発見!! 358本の銅剣出土から35年



今から35年前の1984年(昭和59年)、荒神谷遺跡から銅剣358本、翌年に銅鐸6個、銅矛16本もの青銅器大量出土というセンセーショナルな出来事がおきました。その当時の全国の銅剣出土数は300本あまり、それを一か所で上回る数の銅剣が出土し、さらに銅鐸、銅矛の組み合わせで出土した事も全国で例が無く、発見以来出雲の古代史を語るには欠かせない貴重な遺跡となりました。

その荒神谷遺跡がある神庭の地は『出雲国風土記』に[出雲の郡]とあり、まさに古代の中心的な場所“出雲の原郷”“古代出雲人の聖地”と言えます。

なぜ古代人は大量の青銅器を埋めたのか、銅剣に記された「×」印は何を意味するのか、荒神谷遺跡の謎は未だに多くの人々の関心を集めています。

予告 荒神谷遺跡青銅器発見35周年記念 荒神谷青銅器フォーラム

7月14日(日) 12:50~17:00

会場：アクティーひかわ 多目的ホール

◆オープニングセレモニー

◆記念講演 藤岡大拙(NPO法人出雲学研究所理事長)

◆基調講演 武末純一氏(福岡大学)

「九州と韓国の埋納青銅器からみた荒神谷遺跡(仮)」

◆報告 増田浩太氏(古代出雲歴史博物館) 柏谷実加(荒神谷博物館)

◆パネルディスカッション「東アジアから見た荒神谷遺跡発見の意義」

・パネラー：藤岡大拙、武末純一氏、増田浩太氏 ・コーディネーター：松本岩雄氏(八雲立つ風土記の丘所長)



銅剣出土状況(整備後)

要申込み
先着200名
資料代500円



ホール展示

観覧無料

『第7回おらが自慢の逸品 フォトクラブひまわり写真展』

6月1日(土)
~30日(日)

出雲市在住の写真愛好家による写真展。近年撮影した写真の中でこれぞ!という逸品約20点を展示します。

「空の大蛇」撮影：金崎操▶



予告 荒神谷ハスマ祭り

7月6日(土)・7日(日)

特産品販売、ハス関連グッズ販売
象鼻盃席 10時~14時~(各日、各回50名)



定例講演会 第166回

6月15日(土) 13:30~15:00 資料代:300円 申込不要
演題:『埋葬からみた古墳時代の親族』
講師:清家 章氏(岡山大学文学部 教授)

ゼミ形式「風土記談義」~出雲国風土記編~

6月16日(日) 10:00~12:00
講師:平野 芳英・杉岡 直子 資料代:300円 申込不要

荒神谷博物館

Archaeological Museum of Kojindani

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)

休館日 展示室のみ毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)

〒699-0503 斐川町神庭873-8

☎72-9044 FAX 72-7695

最新情報はFacebookをご覧ください▶

荒神谷博物館FB 検索

